



災害派遣トイレネットワークプロジェクト

みんな元気になるトイレ

交野市 助けあいジャパン

被災時に深刻化するトイレ問題解決のため
交野市はトイレトラックを今秋に導入します。
災害派遣トイレネットワークに参加し、
いざという時には、全国の参加自治体が駆けつけ
支援し合う、助けあいの仕組みに加わります。



能登半島地震への災害派遣・稼働の様子

「クラウドファンディング」へのご支援のお願い

● 募集期間

令和6年6月1日（土）8:00 ~ 7月31日（水）23:00

● 目標金額

8,000,000円

● 寄附方法

社会問題解決に特化したプラットフォーム「READYFOR」を通じて寄附を募集します。

① <https://readyfor.jp/projects/mintore-katanoshi>にアクセス

② から進み、初めての方は で登録後、ご寄附をお願いします。

※寄附方法（決済方法）はお振込み、クレジットカードでのお支払いとなります。 ※振込手数料は支援者様負担となります。

災害時、トイレ問題が深刻化し、せつかく助かった命が危険を強いられます。

- 災害時、停電や断水等によりトイレが使えなくなり、圧倒的にトイレが不足します。
- 劣悪なトイレ環境→トイレ我慢→飲食我慢→体調悪化の連鎖となり、せつかく助かった命が危険を強いられます。
- 熊本地震では、災害による直接死50人に対し、避難生活の心身負担で81人を亡くし、災害より避難で命を失いました。

導入するトイレトラック「みんな元気になるトイレ」とは？

① どこでも使える

4WD、寒冷地対策等、どこへでも移動ができ、給水・汚水タンクを備えているため、到着すぐに使用することが可能です。

② 快適に使える

仮設トイレは幅90cmに対し、1.5mの広々サイズ。被災地では、お子様の着替え～お年寄りの付き添い、歯磨き、お化粧まで、レストルームとしての役割が必要です。

③ 誰でも使える

洋式の水洗トイレを備えた個室が5室、また最後部は、電動車いすリフター、オストメイト対応設備、おむつ交換台、ベビーキープを備えた多機能トイレ室となっています。

④ 停電でも使える

天井にソーラーパネルを設置、蓄電システムにより、停電時でも使用する電機は自車でまかない、周辺や室内を明るく、被災地の夜に安全・安心を届けることができます。



イメージ図



災害派遣実績

■ 活動開始：2018年

■ 派遣箇所：12か所

■ 累積支援日数：708日

■ 利用者数：約54,300人

■ 使用回数：約108,600回

災害派遣トイレネットワークとは？

仲間の自治体が被災した際、全国から駆けつけ、良質なトイレを支援し合う仕組み。



全国の自治体が1台ずつ配備し、被災地に集結できたなら、災害時に深刻化するトイレ問題を大きく解消できるはず。という主旨に賛同し「みんな元気になるトイレ」を導入した自治体が参加するネットワーク。

今回の導入により、交野市が被災した際には、全国の参加自治体から支援を受けられることになります。

- 導入自治体：22（2024年5月現在）
- みんな元気になるトイレ：84室 ※4台は3室仕様
- 対応トイレ回数：27,500回/日

**能登半島地震 | 被災5自治体へ22台を派遣、延べ222万人・110万回のトイレ支援。
ネットワークの仕組み・サポートにより、継続した支援が可能に。**

● 派遣調整

事務局が各自治体の出動態勢を把握、被災自治体とワンストップで派遣調整を行うことで、円滑な派遣を実現しています。

● 情報共有

能登半島地震では、道路状況等の情報が一切ない中、お正月2日に1台、翌3日に2台、4日には4台と、続々と能登半島へ災害派遣に入りました。先行自治体から後続へ次々に送られる情報を頼りに、最大限の安全配慮に努めることができ、22台30カ所への派遣を無事故で実施できました。

● 補給支援

毎日、大量の水をもらう補水先の開拓～給水車確保、巡回ルート策定、昼夜問わずの給水活動等、補給チームがこれら任務を担い、絶やすことなく補給を続け支援継続を支えてきました。

● 点検・補修巡回

能登半島地震の支援では、1台あたり4万回を超える使用となり、各所に破損等が発生してきます。約3週週間に一度、参加自治体が当番で全車を点検、翌週、点検結果をもとに修理事業者が補修に回ります。これも支援を止めない、継続に絶対に必要な活動です。

※復旧による移設・再派遣含む ※2024年4月末時点

ふるさと納税型クラウドファンディング | ご支援のお願い

近年、災害は頻発化・激甚化の傾向にあり、その被害は深刻さを増しています。

交野市においても、万一ではなく、明日起きる大事として防災・減災事業に取り組んでおり、この度トイレトラックの導入に至りました。災害時でも、個室化され、安全で、広く、清潔なトイレを市民の皆さまに提供することが可能になります。

また導入後に参加する「災害派遣トイレネットワーク」は、全国から参加自治体が駆けつけ合う助け合いのネットワークです。

「みんな元気になるトイレ」の配備が進めば進むほど、受けられる支援が増加していく仕組みであり、交野市もネットワークの強化に寄与したいと考えており、どうか「みんな元気になるトイレ」の導入資金として、ご支援の程よろしくお願い致します。

●企業・団体様のご寄附について

- ① 損金算入による税控除が受けられます。
- ② 1万円以上ご寄附いただいた企業・団体様は社名をトイレトラックの背面に掲載いたします。（希望者のみ）
 - 十数年の間、御社名を背負い、平時のイベントや被災地支援に赴きます。
 - 高額寄附者様は、商標等のデザインを掲載いたします。（例）100万円：60×8cm／50万円：50×6.5cm
- ③ ご寄附いただいた金額に応じて、交野市長より感謝状を贈呈させていただきます。
※ 贈呈式等の形式等は、後日、ご案内いたします。

●クラウドファンディング会社は、READYFOR株式会社を利用します。

同社は、社会課題解決型のクラウドファンディングを多数成功に導いており、私たちの想いに共感いただける寄附者の方とより多く繋がれると考えたためです。

- 本プロジェクトは、寄附総額が目標金額に届かなくてもトイレトラック導入事業を実施します。
- 個人でご寄附いただく場合は、ふるさと納税と同様に、実質負担2,000円でご寄附いただけます。
※ ワンストップ特例制度を活用できます。（確定申告不要で寄附金控除を受けられる制度です。ふるさと納税先が1年間で5自治体以内であれば利用可能です。）
※ 詳しくはhttps://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/mechanism/deduction.html

